

パブリックコメントによる提出意見と対応方針

提出者	該当ページ	分野	意見内容	対応方針
1	P2～9	その他	松カン跡地メガソーラー発電計画の件について、大変お世話になり感謝しております。しかし、全国で推進されているメガソーラーをはじめ、再生可能エネルギーについては問題がたくさん起きていますので、僭越ではございますが意見を言わせて頂きます。 2050年まで脱炭素社会を目指す日本と他国の違いについて IPCCによりますと、CO2を1兆トン出すと気温が0.5℃上がると言われています。日本の排出量は年間約10億トンです。ですから日本は年間0.5℃の1/1000(0.0005℃)気温上昇させています。 2050年までのあと25年で0.012℃気温上昇させることになります。 2050年に日本がCO2ゼロにしても0.006℃の気温低下なのです。 (松江市長と共に地方創生委員会に出演されたキャノングローバル戦略研究所 研究主幹・杉山大志氏の解説) 日本の排出量は世界の3％です。 世界の排出量1位(30％)の中国は脱炭素を実行していません。 世界排出量2位(20％)のアメリカは、トランプが大統領になれば脱炭素はやめる方針です。 オランダでは牛のげっばやおならが有害といわれ酪農が潰され、国民のデモが起きています。 2024年、ダボス会議では水田稲作が温室効果ガス・メタンの発生源と言っています。稲作をやめるのでしょうか。 人類が何百年と培った酪農や農業をやめて遺伝子組み換え作物やコオロギ、人口肉を食べるのでしょうか。 ホッキョククマは実際増えています。イラク戦争のあの油まみれの鳥のようにクマの写真が真実かどうかも疑問視されています。 世界のお金持ちの方たちの利権に合わせて各国の政策が左右されていることに気が付いて頂きたいです。 (2024年2月10日に開催されたJAしまね主催・東京大学・鈴木信弘氏の講演会資料参考)	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。 海外の状況につきましては情報がございましたのでご紹介させていただきます。 中国における脱炭素の状況 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) (https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2023/95e09adb901659bb.html) アメリカ合衆国における脱炭素の状況 (https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2023/0903/8b5f088edaf5fff9.html)
	P16	食ロス	食品ロスにつて 経済的に大変な今、個人が捨てる食材は少ないと考えます。それより日本で生産される牛乳が余っていませんか。それなのに赤ちゃんのミルクをアメリカの牛乳で作っているのだそうです。学校給食にアメリカから輸入した除草剤グリホサートが使用されている小麦粉で作ったパンが出されています。木次乳業にオーガニックミルクを作って頂き、松江市にはミルクが必要なお母さんに補助金を出してほしいです。給食を有機米と有機野菜を使い、乳製品は日本のノン・ホルモン牛乳で作ったものを提供すれば子どもたちは健康になると思います。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。 国際連合食料農業機関の報告書によると、日本で年間612万トンもの食料が廃棄されていると言われています。松江市の状況はP50の環境コラムに掲載のとおり、松江市内で排出された家庭のもやせるごみ袋のうち約41％が生ごみ(調理くず・食べ残し、手付かずの食品)として捨てられています。
	P84	再生可能エネルギー	自然環境の保全の観点からも再生可能エネルギーの見直しを 昨年、たくさんの熊が山から出てきて殺されました。数百年から1000年以上の長い年月をかけて、様々な生物が共存し豊かな森を作ってきたと言われています。森は動物、植物、昆虫、微生物などが密接に関わり絶妙なバランスの上に成り立っています。そして、豊かな森は水を貯え、私たちが暮らす里に水を運んでくれます。この水源地でもある森を守り、自然と共存していかなければ、豊かに生きていける自然環境を子どもたちに遺すことはできません。再生可能エネルギーは森や海を壊し、海外に土地や水源地を奪われていますか。熊は自然が破壊されると食べ物なくなるという警鐘を鳴らしてくれているのではないのでしょうか。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。 再生可能エネルギーの導入促進を図るうえで、太陽光発電や風力発電は有効な手段と考えていますが、導入に向けた課題・配慮すべきこと(本市特有のもの)として、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。再生可能エネルギー発電設備を設置する際には、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆様への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。松江市の豊かな自然環境を守るためにも、「COOL CHOICE」や「30by30」の取組やその意義を周知していく必要があると考えています。
		再生可能エネルギー	買われる不動産を守る政策を 根本的に現在の再生可能エネルギーの政策は間違っていると思います。なぜならエネルギー、食、医薬品などが世界のお金もちの方の利権に全て繋がりが、日本を衰退させていくことに繋がっているからです。自然豊かな北海道の土地や資源が外国資本に買われ続け、その中には90％が外国人になり日本人が住めなくなった町(ニセコ)があるだけではなく、そのインフラ整備は地元の税金で行われています。日本の山林は安く買やすい。審査も開発の規制もない。その波が再生可能エネルギーを隠れ蓑にして本州に押し寄せ、松江カントリー跡地が買われていました。これから島根県の土地や水源地、マンションや家屋までもが買われると思います。このように日本の土地を買う不動産・企業のフロントは中国とはわかりません。なぜなら中国からお金が出ていだけで日本人が運営しているからです。近年では米国の資本も急速に増えているようです。また、中国には軍民融合、国防動員法があることを忘れてはいけません。不動産が奪われることは国土がなくなるといことに繋がることを認識しないと日本の国はなくなります。松江市の不動産を守る政策、条例を検討して頂きたいです。	本計画は温室効果ガス削減のための方針・施策を示すものであり、個別の事業計画に対する対応についてはお示しいたしますが、P73「エネルギー源にはそれぞれ特徴と課題があり、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。」と記載しています。これらの事業について、本市独自に規制する条例を設けることは考えておりませんが、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆さまへの説明、景観の配慮、自然環境の保全、安全対策が十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。
		その他	脱炭素利権 他国は脱炭素を見直しつつありますが、我が国は脱炭素を信じてCO2削減に取り組み莫大なお金を使っています。日本はCO2が減少していると言われていますが、減少の理由は工場が倒産しているからと言う専門家もおられます。この脱炭素事業は、補助金が大いなので様々な利権になり進められているように思います。50年前、石油があと30年で枯渇すると宣伝し、作られたのは原子力発電所ではなかったでしょうか？自治体自身が脱炭素利権を応援する仕組みが作られています。世界の方針転換は日本には伝えられず、国民自ら国土や資源を海外に売り、我が国を衰退させているようにさえ思えます。 コロナワクチンを世界は中止しているのに日本だけが今も進められ、犠牲者が増え続けているのと同じです。 その悲惨な現実には日本国民がなぜ気が付かないのか。政治家や行政機関の方々がわからないのか不思議です。メディアが報じないからでしょう。このような考えを陰謀論にしたい勢力がありますが、これは論ではなく私たち日本人が早急に気づくべき事実です。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。

パブリックコメントによる提出意見と対応方針

提出者	該当ページ	分野	意見内容	対応方針
		その他	飛行機雲は温暖化防止のためですか？ 空を見上げると連日のように飛行機雲のようなものが幾重にも見えます。これは実際何なのでしょう。一説には温暖化防止のためと聞いたことがありますが嫌な臭いもします。この成分を調べて頂きたいです。何が撒かれているのか市民に教えて頂きたいです。	ご意見をいただき、ありがとうございます。本計画は温室効果ガス削減のための方針・施策を示すものであり、ご意見についてはお答えかねます。
		その他	最後に、松江市環境エネルギー部の方々はこのメガソーラー事業によりおかしな日本の現状に気が付かれたと思います。日本にはCO2を排出しない火力発電があります。常に火力発電の援護がないと稼働できない再生可能エネルギーは近いうちに衰退し、ソーラーパネルはもっと効率の良いものが販売されると思います。島根原子力発電は安全に維持するためにも稼働する必要があると私は考えています。再生可能エネルギーは国の政策であり実施していくしかないのもわかりますが、ノーモア・メガソーラーと宣言した福島市のように、子どもたちの未来を守るため、松江市役所の方々には賢明な施策をお願い致します。よろしくお願い申し上げます。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。
2		全体	・自転車の普及に助成金 ・予約販売や計り売り、脱プラスチック、容器持込販売やフードロスを出さない店に助成金 ・卵や魚が傷まない保冷、衝撃緩和荷台付自転車の開発 ・無駄に電力消費を煽る企業に締め付け税制 ・より省エネ家電にするために廃棄物が出るような家電の作り方改革として回収リサイクルの徹底(売ったらゴミも回収義務的な) ・無農薬野菜や果物にすると皮も食べられるから生ゴミが出ない ・生ゴミは微生物資材やコンポストで土に還す。 ・洗剤は使わない。 私の場合は、 食器、鍋のアブラ汚れは、アースラブで微生物に食べてもらったり、包装資材の紙やウエス、使用済みキッチンペーパー等でしっかり拭き取る。 あとは殆ど水洗いで良いが、みかんの皮や種渋(カリンの種とちよっと傷んだところを炊いた水)？等で洗うこともある。 ・洗剤で洗わないとリサイクル出来ないようなものはなるべく買わない。 ・健康やCO2削減の為に、徒歩か自転車で近場の商店で買い物するとよい。 鍋持って豆腐買いに行くイメージ。 私は皿持って唐揚げ買いに行ったり、イベントやマルシェにも井や箸、容器を持って行く。 ・工場でも既成概念を取っ払って取り組む。 CO2削減と生物多様性 ・CO2吸収と土壌微生物、ミツバチ、人の健康などの為にも除草剤の販売、使用を厳しく規制する。他国で訴訟を起こされるようなものは禁止する。 ・日本在来種で、庭を地球に還す。食べられる在来種ならなお良い。 ・森林伐採して再エネは本末転倒。 ・土壌汚染有害廃棄物となるメガソーラーは必要無い。 ・メガソーラー推進事業者には、災害時の対策、被害保障、その廃棄まで責任を持って対応出来るものでなければならない。万が一会社を転売する場合にはその責任も受け継ぐものでなければならない。 ・市、県、国は、企業が倒産した場合の責任の範囲を、合同会社等によって責任能力の無い形態の企業といかなる契約も結んではならない。転売後の企業形態についても同様とする。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。 松江市では「まつえ循環プロジェクト」事業として、令和4年度から「まつえファーマーズマーケット」を開催し、リユース食器を使ったごはんの炊き出しを行ったり、廃棄されるタンスで作った「タンスコンポスト」を使って生ごみを資源化したりしています。

パブリックコメントによる提出意見と対応方針

提出者	該当ページ	分野	意見内容	対応方針
		再生可能エネルギー	再生可能エネルギーについて松江市カントリークラブ跡地における太陽光発電設備(メガソーラー)についての意見 市からリンクした事業者ページから添付した意見と回答から 2 パネルを設置することにより川があふれるのではの回答について 要は、松江市の指導のもと検討 計算を行い、松江市河川課との協議により法令や技術基準を満たしていると確認した。 と言うことで災害時には市がその責任を負うかのように感じます。 3 除草剤散布により土壌汚染、水道湖汚染が心配の回答について 除草剤は原則使用しないとあるのは、使用された場合の、責任が不明確かつ使用しない事の意味も不明確です。市民の不安は解消されません。 4 倒産したらそのまま放置するのではの回答について 仮に倒産しても、想定通りに発電し当初の条件どおり売電できる限り、発電事業は継続されるとあるが、そもそも倒産する状態で想定通り条件どおりであるとは考え難く、発電事業が継続されているとも考え難い。そのまま放置しない為の対策対応を答えていない。 5 パネルが強風により飛んで被害が及ぶのではの回答について 強風でパネルが飛ぶことは想定し難いとあるが、現に各地で飛んでいるのはどこも基準を満たしていない杜撰な事業者ということになるのか？ 現に飛んでいる事を踏まえての対策や被害保障を何ら考慮していないと感じます。 税にも等しい再エネ賦課金で利益を得るからには、民間企業といえど相応の義務と責任を果たすべきではありませんか？何の対策も十分な資金保留の確約も無い企業と開発計画の協議をしている松江市、島根県の姿勢が市民、県民の安心安全を脅かすものであってはならない。 現に住民から反対の意向が後を絶たない状況下で、いち民間事業の推進を容認してはならない。と思います。 土地が既に入収されているものなら、市と県と国で買い取り、市民の憩いの場となる自然樹形の水と緑溢れる公園や、協生農法等の薬剤を使わない健康的な畑にして食べられる公園としたり、災害時にも食料が得られる公園とした方が良いです。そうすればCO2削減の大きな力にもなることでしょう。何より生きた財源の使い方になると思います。財源が足りなければ、クラウドファンディングしてみたらどうですか？ 森林整備の観点からも日本古来の建築様式で耐震性の高い建物を研究し、武家屋敷のような古民家木造住宅を松江市民の住宅として現代版アレンジして供給、空き家再生を図る。高層マンションなど必要ありません。松江らしい家を供給する企業を求めます。 耕作放棄地や空き地、廃屋等は地球守りの観点を取り入れた極力自然樹形の緑地、又は協生農法、自然農等の薬剤を使わない健康的な畑にして緑化を推進し、ソーラーパネルは国内企業のを既にあるビルや建物に設置するのが望ましいです。メガソーラーは不要です。 巨大風力発電は、陸上海上ともに設置すべきではありません。歴史ある神話の国 島根県の気概を持って行政にあたってください。	本計画は温室効果ガス削減のための方針・施策を示すものであり、個別の事業計画に対する対応についてはお示しいたしません、P73「エネルギー源にはそれぞれ特徴と課題があり、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。」と記載しています。メガソーラー事業については、民有地を活用した民間企業による経済活動であり、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆さまへの説明、景観の配慮、自然環境の保全、安全対策が十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。
3		再生可能エネルギー	①電気自動車のバッテリーのシェアは中国が大きく、また作る時に大量のエネルギーが必要でエネルギー収支を総合的に見るとガソリン車と大きな差はありません。松江は原子力がありますが、日本全体では火力発電が多い。つまり電気エネルギーの元は化石燃料です。自然エネルギーを増やしたら良いと言われるでしょうが、以下にそれらの問題点を書きます。 ②太陽光パネルも現在日本ではほぼ作られてなく、中国のシェアが大きいです。しかもウイグル自治区で強制労働をさせて安く作っていると国連が問題視した事もあります。また山の森林を大規模に伐採して太陽光パネルを並べる事が環境に良いハズが無い事がなぜすぐにわからないのでしょうか？国内の林業を復興させ植林し続ける事の方が遥かにエコです。またパネルは有害物質を多く含む土壌汚染、土砂の流出などにより自然生態系の破壊、流域での農業、漁業への影響を考えると計り知れません。パネルを補助金で並べ、売電で儲ける一部の企業のための利益になるにすぎません。(全国的例では中国企業が多い) ③風力発電 出来る電力が非常に少ない、低周波音の問題、渡り鳥がぶつかって死ぬ、風をエネルギーにするのは当然風車の後ろの風が減るのでその事が自然に影響する事も考えられる。森林の木々の根張りや海の波も風によって起こるのでそれらが減る事になります。森林では伐採による土砂の流出も太陽光と同様に考えられますね。 以上の事からいわゆる地球温暖化やゼロカーボンの号令により行われる多くの事業はまったく本来の自然環境を第一に考えられた政策ではない事がわかります。 根本的に見直す必要があります。	再生可能エネルギーの導入促進を図るうえで、太陽光発電や風力発電は有効な手段と考えていますが、導入に向けた課題・配慮すべきこと(本市特有のもの)として、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。再生可能エネルギー発電設備を設置する際には、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆様への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。

パブリックコメントによる提出意見と対応方針

提出者	該当ページ	分野	意見内容	対応方針
4		再生可能エネルギー	このたびは貴重な議論の機会をいただきありがとうございます。松江市の姿勢として、行政が上から押し付けるのではなく、市民自らが知り、考え、行動して、主体的にカーボンニュートラルに貢献していくことを目指していることが読み取れ、私もひとりの市民として自分が心がけるべきことを勉強するような気持ちで読み進めました。そして2025年、2030年、2050年という短・中・長期目標の頃の松江の風景を想像しながら私なりに考えた意見を述べます。よろしくお願いいたします。	太陽光パネルのリサイクルについて、松江市が環境省から選定された脱炭素先行地域の共同提案者の松江市内事業者により、令和6年2月に県内初の廃太陽光発電パネルリサイクル施設ができ、取組として開始されたところです。詳細はこちらのホームページをご覧ください。(https://www.earthsupport.jp/news/detail?id=433) 再生可能エネルギーの導入促進を図るうえで、太陽光発電や風力発電は有効な手段と考えていますが、導入に向けた課題・配慮すべきこと(本市特有のもの)として、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。再生可能エネルギー発電設備を設置する際には、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆様への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。
	基本方針4 P79 P80 P82【太陽光パネルのリユース(構想)】		左記、太陽光発電のPPAやリユースの記事が続けて紹介されていました。太陽光について、リユース可能＝持続可能であり、すでに普通に実行されているか(実現可能)のイメージを受けて、疑問に思いました。イラストイメージ:“原材料としてリサイクル”(2段目)について、果たして実現できているのでしょうか。パネル内の有害物質を安全に処理する技術はまだ不完全と聞いていますが、現状はいかがでしょうか。いずれにせよパネル処理の問題に備えることは必至です。将来の廃棄量の想定、具体的な処理工程、処理作業に伴うCO2の排出、予算など、もう少し具体的な情報を目にしたいと思いました。	
			廃棄パネルの問題では、売電事業者による大規模発電所のことがとても気がかりです。パネルの枚数は万単位。もしも放置の問題が発生したら、土壌汚染は必至で、SDGSどころではありません。 漏電火災の心配もしなくてはなりません。	
			そこで、自宅用あるいは自営業用の場合と売電業者の場合は区別して考える必要があると気づきました。その点についても本計画の中でぜひ言及をお願いしたいです。売電業者による大規模太陽光発電事業についてというテーマも扱っていただきたいと思います。	
	基本方針4と基本方針5の両立	再生可能エネルギー	・基本方針4:地域の特性・資源を活かした「再生可能エネルギー」の創造 ・基本方針5:本市が有する「自然環境」の保全と活用 個人の意見としては、売電事業者に対しては、市が松江の有する自然環境を保全するという基本方針において、積極的に関与していただきたい。具体的には、条例の制定なども実行計画として検討をお願いしたいです。折しもゴルフ場跡地に大規模発電事業所建設の計画が進んでいますが、2025年、2030年、2050年にはどうなっているのでしょうか。私には順調に稼働している風景を想像することができません。パネルの破損や放置は必ず土壌汚染、水質汚染、宍道湖汚染につながると危惧しており、宍道湖を愛するひとりとして、不安を募らせています。市民の力ではどうすることもできず無力感を感じるばかりでしたので、このパブリックコメントの機会をありがたく利用させていただくことに致しました。	再生可能エネルギーの導入促進を図るうえで、太陽光発電や風力発電は有効な手段と考えていますが、導入に向けた課題・配慮すべきこと(本市特有のもの)として、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。再生可能エネルギー発電設備を設置する際には、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆様への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。
	P73 太陽光 風力 課題の欄	再生可能エネルギー	課題(問題点)の項目に、火災(鎮火が困難)や感電事故、健康被害の可能性(電磁波、騒音)も加えていただきたい。風力についても健康被害の可能性(低周波、騒音)を加えていただきたい。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見いただいた一部に関しては、P73の課題の項目の中に含ませております。
		その他	「水の都」松江。緑豊かで農作物も海産物も美味しい。空もきれい。私たちが当たり前に享受している恵み、それらによって成り立っている平和な日常を守るために、あらゆる施策はあるべきだと思います。松江市に期待しておりますので、よろしくお願いいたします。	ご意見をいただき、ありがとうございます。本計画に基づいて、地球温暖化対策を一層推進してまいります。
5		全体	素案のPDFの内容はとても勉強になりました、ありがとうございました。捨てるごみの中身が生ごみが多いとかデータでわかると自分事化しやすかったです 水分をなるべく失わせるよう気を付けます ・ソーラーパネル 市役所に設置する案があればもっとアピールになるのではないかと思います。(見落としていたらすみません) ・生ごみ ごみ焼却施設のCO2削減 シェアできる耕作放棄地など畑を増やしてもらって、生ごみの廃棄を減らして、 ・ごみ焼却施設の燃料使用を減少させる コンボストの助成金(雲南市) ・原発 素案では原発に一言も触れていませんでしたが、原発はウラン掘削や従業員被ばく、事故となれば世界的汚染につながるため、SDGsとは真逆を行くので今すぐ廃炉願います。新設にも莫大な資源浪費となるため、エコじゃないです ・松江市の脱炭素先行地域の情報発信用SNSがあれば見たいと思いました。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。 公共施設への設置については、地球温暖化対策実行計画事務事業編(市役所編)に掲載しており、松江市の脱炭素先行地域の情報は、松江市ホームページや松江市公式SNSを活用して情報発信しております。
6	P39	断熱	どの<環境コラム>は分かりやすく、ためになる情報でとても良いと思いましたが、既存の窓ガラスに比べ2重サッシや複層ガラスの効果については、環境省ホームページで見るとして、41Pにあるような、国(県や市単独は?)の助成や支援策があるのでは?一言付け加えて書いてあればより窓の取り換えに効果があるのではと思いました。	P39の左側のQRコードのリンク先を変更し、「環境省の補助金「既存住宅の断熱リフォーム支援事業」はこちら(執行団体の公益財団法人北海道環境財団ホームページ)」の文を追記し、国の助成や支援策への誘導できるようにしました。

パブリックコメントによる提出意見と対応方針

提出者	該当ページ	分野	意見内容	対応方針
	P45	4R	タンスコンポストの推進とても良い取り組みだと思います。記載されているのが<環境コラム>リフューズのまつえ環境プロジェクトの取組に、廃棄されるタンスで作るとあるので、リサイクルになるように思いました。P58に余白が少しあるので、松江市独自にリサイクルしているものとして、P82の太陽光パネルも併せて載せてはどうでしょうか？リサイクルの書き方だとは思いますが？	まつえ循環プロジェクトは4Rの活動全てに関わるものを実施しているため、4Rに関することに取り組んでいる表現を追記しました。
	P53	4R	<環境コラム>の中に原料の調達・工場での製造・輸送等様々な段階を経て作られた衣類には、多くのエネルギーが使われているのにもかかわらず、我々の消費者が短いリサイクルで破棄するため、処理にも多くのエネルギーが必要になります。とあります。洋服になるまでのエネルギーと、廃棄した場合のエネルギーを表す図があれば具体性が増すように思います。例えば1着の服を作り廃棄するまでのコストとして掲載するとか？(※アンケートの中に学生が一番持っている服を長く大切に着ていないようなので、意識改革にもなるのでは？)	QRコードのリンク先から、製造段階での環境負荷(CO2排出量)等が確認できるため、QRコードへ誘導する文言を追記しました。
	P93	体裁	<環境コラム>のJ-クレジット制度の図式の文字が小さ過ぎて見えにくいです。	ご意見をもとに、文字を大きく修正しました。
	P123・P124	体裁	③の質問について、それぞれ2段に分けて同じような棒グラフにしたのはなぜでしょうか？1段目の棒グラフが2段目のグラフに反映されているのに、①段目の棒グラフを掲載した意味を教えてください。	ご意見いただいたとおり同じ情報が棒グラフに反映されていたため、1段目のグラフは削除しました。
	P128～P130	情報発信・啓発活動	⑦の設問に対して何をしたいのかわからないのが一番多いのは、SDGsを知らない事や松江市の取組を知らない事が大きな要因だと思います。授業にも取り入れて頂いたり、イベントをする際のチラシを学校にも掲載してもらう努力が必要ではないかと思いました。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見は参考とさせていただきます。松江市では学校への出前授業や市内施設での展示パネルの設置による周知活動や、令和6年3月に「松江市SDGsシンポジウム2024」を開催するなど、普及に努めています。また、令和6年4月以降に松江市内の全ての小学生に再生可能エネルギーについて学べる動画教材を作成しており、活用してまいります。今後も本計画を皆様が理解していただけるよう推進していきます。
		相談窓口	相談窓口について、記載されているのはとても良いことだと思いました。とても分かりやすい配慮がされていると思います。編集するのが大変でしたでしょう。お疲れ様でした。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。
7	P2	地球温暖化	「地球温暖化」の定義が人間の活動の拡大に伴うものか不明。根拠なし。この様な経済活動を阻害する政策を松江市民が背負う必要が無い。税の無駄使い。温暖化による異常気象は起こっていないとする専門家は多い。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。環境省ホームページで公開されている資料「IPCC第6次評価報告書(AR6)統合報告書(SYR)の概要」では、「人間活動が主に温室効果ガスの排出を通して地球温暖化を引き起こしてきたことには疑う余地がなく、1850～1900年を基準とした世界平均気温は2011～2020年に1.1℃の温暖化に達した。」とあります。自然災害による被害は近年激甚化するなど、気候変動が企業の持続可能性を脅かすリスクとなり、脱炭素化によって気候関連のリスクの回避、機会の獲得を目指す動きがビジネスにおける潮流となってきました。気候変動対策は単なるコスト増加ではなく、リスク低減と成長のチャンス(未来への投資)など、課題解決につながるものと考えます。
	P12	その他	地方行政は第1に市民の生活により添う政策、1次産業の担い手育成を含む、産業の片寄りを無くす政策が最優先。	ご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見については参考とさせていただきます。
	P27	目標	2050年に脱炭素型ライフスタイルが定着したまちになる事で、それが松江市民の特有の価値を生み、将来世代へ誇れるものとなるのか。また、松江市がこれらの目標を達成したかどうかの検証はなされるのか。	松江市で脱炭素型のライフスタイルが定着することにより、環境に配慮された街づくりができ、松江市独自の魅力がうまれると考えています。本計画の進行管理に基づき達成状況を確認していきます。

パブリックコメントによる提出意見と対応方針

提出者	該当ページ	分野	意見内容	対応方針
	P73	再生可能エネルギー	再生可能エネルギーについては大型事業では外資系企業による、管理放棄や周辺住民の生活を脅かす様々な被害。また、環境を破壊しての設置など問題も多い。常に市民側に立った施策が行われる様な計画とすべきである。	再生可能エネルギーの導入促進を図るうえで、太陽光発電や風力発電は有効な手段と考えていますが、導入に向けた課題・配慮すべきこと(本市特有のもの)として、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。再生可能エネルギー発電設備を設置する際には、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆様への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。
8		再生可能エネルギー	国の脱炭素の号令にのっとり、各地方でメガソーラーや風力発電を建設して果たして、メリットがあったか？と考えると疑問である。エネルギー密度が低いこと、出力が安定しない事を鑑みて、かえってその地方、地方に良い結果より悪い結果が起きている事を考えると今、法吉町の松江カントリー跡地に建設予定のメガソーラーなどは止めるべきだと考える。むしろ、CO2を出さない火力発電を推進していく方がエネルギー密度も高く得策ではないでしょうか。「再エネは社会に役立つ」というのは虚構でしかない。ノーモア・メガソーラー宣言した都市を見習い前車の轍を踏まないように願います。	再生可能エネルギーの導入促進を図るうえで、太陽光発電や風力発電は有効な手段と考えていますが、導入に向けた課題・配慮すべきこと(本市特有のもの)として、気候・自然環境・景観等に配慮しながら導入を進める必要があります。再生可能エネルギー発電設備を設置する際には、国のガイドラインや関係法令に基づき、事業者の責任において、地域住民の皆様への説明、景観への配慮、自然環境の保全、安全対策などが十分に考慮され、周辺地域との調和を図りつつ適切に計画されるべきと考えています。